

今後に向けての学校の考え（学校関係者評価を受けて）

進学校として、凛々しく、優しくの教育理念の下に、確かな学力と豊かな心を持った生徒の育成を目指して努力をしているところである。学校関係者評価委員からは、タブレットやプロジェクターを積極的に取り入れた授業展開についての期待が表明される一方、中学の看板システムであるスリーライトクラスについて、将来を見据え、より一層生徒の意欲を引き出す具体的な方法を検討されるよう意見があった。また、授業評価の必要性や成績処理へのチェック体制等にも再度意見をいただいた。なお、中学においては、進路指導に当たり、卒業生から話を聞くことの重要性や複数説明会への参加の必要性について意見をいただくと共に、生徒や保護者の SNS や LINE についての係わり方について、学校として、より一層検討することが必要ではないかといった意見もいただいたところであり、今後、これらについて十分検討し、文部両道の進学校としての地位を更に築いていきたい。